

	<h2>新型コロナウイルスに係る高齢者支援 ひとり暮らし高齢者約6000人に生活相談案内を発送</h2>
と き	5月15日(金)
と ころ	区内25か所の地域包括支援センター

区は、15日、新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えているひとり暮らし高齢者約6,000人に、生活維持等に関する相談の案内を発送した。

区では日頃、地域包括支援センターの専門職員が、介護サービス等を利用していないひとり暮らし高齢者の自宅を訪問し、介護サービスの提供など状況に応じて必要な対応をしている。現在は、感染を防ぐため、電話による個別連絡を行っているが、ひとりで悩みを抱え込まず、食事や買い物など日々の生活の不安を気軽に相談してもらえるよう書面でも案内を発送することとした。

25か所の地域包括支援センターで、区民からの相談や問い合わせを受け付け、電話や訪問で食事の確保や、自宅でできる運動のアドバイスなどを実施する。



▲発送した案内

【参考】

・地域包括支援センター

保健師・看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が連携をとりながら、介護だけではなく、福祉・健康・医療など、さまざまな分野から総合的に高齢者とその家族の生活を支える地域の窓口。区内に25か所のセンターを設けている。

・ひとり暮らし高齢者等実態調査

区の高齢者は約16万人。区では、ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の方の生活機能、運動機能、栄養状態、閉じこもり傾向、認知機能等の調査を実施。民生・児童委員の協力を得て3年を1サイクルとして調査を行っている。昨年度、70歳以上でひとり暮らしの方を対象に調査し、見守りが必要な方約6,000人を抽出した。